

令和7年度第1回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議の
質疑に関する担当課からの回答確認事項について

1	会議中にいただいた質疑
	西脇市の劇団四季ファミリーミュージカルを鑑賞した多可町民、多可町の演劇セミナーに参加した西脇市民はそれぞれ何名か。
	担当課からの回答
	担当課：西脇市生涯学習課、多可町生涯学習課
	<p>【西脇市】劇団四季ファミリーミュージカル 入場者数 557名（アンケート回答数 253件） （西脇市 169名、多可町16名、その他56名、未回答12名） ※西脇市民を対象に先行販売をしたため、西脇市民が多数となっている</p> <p>【多可町】演劇セミナー 参加者50名（西脇市15名、多可町12名、その他23名）</p>
2	会議中にいただいた質疑
	やすらぎ苑・はやすクリーンセンターの設置期限延長に関し、基金の積立はできているのか。
	担当課からの回答
	担当課：西脇多可行政事務組合業務課
	<p>広域斎場やすらぎ苑、最終処分場はやすクリーンセンターについて、斎場業務、清掃業務に対する地元自治会の御理解と御協力のもと、施設を運営している。施設の設置や稼働に関して地元自治会との協定を交わしており、その協定上の稼働期間終了後の施設の取扱いに関する質問であると理解し回答する。</p> <p>施設の取扱いについては、しかるべき時期に地元自治会と話し合いを行う場を設け協議を行うこととなり、一定の方向性が出た段階で、対応していくものと考えている。</p> <p>現時点においては、地元自治会の御理解・御協力を得ながら周辺の環境対策を含め各施設の適切な管理・運営に努めていくことが重要であると考えている。</p>
3	会議中にいただいた質疑
	多可町では移住者が減少しているとあるが、状況と原因等の分析を教えてください。
	担当課からの回答
	担当課：多可町定住推進課

	<p>移住者数について、令和5年度の実績では30世帯73人だったが、令和6年度は23世帯37人と減少する結果となった。</p> <p>空き家バンク利用者などのIターンやJターンと考えられる世帯は、令和3年度15世帯、4年度21世帯、5年度21世帯、6年度20世帯と、大きな増減はなく横ばいで推移している。一方で、あったか家族多世代住宅助成など、すでに多可町に定住されている方やUターン者が利用できる制度を通じて転入された世帯は、令和3年度8世帯、4年度8世帯、5年度9世帯、6年度3世帯と6年度は減少している。</p> <p>このことから、令和6年度の移住者数の減少の主な要因は、Uターン層の減少にあると分析している。</p>
4	会議中にいただいた質疑
	多可町の女性の起業セミナーに出席された方の起業実績は。
	担当課からの回答
	<p>担当課：多可町こども未来課</p> <p>令和6年度のセミナーは、起業の第一歩（情報発信）として動画編集講座（YouTube・Instagram）を開催した。</p> <p>参加者6名のうち4名はまだ小規模な段階であったが、2名については、既に起業している（アクセサリー販売、古着販売）。</p>
5	会議中にいただいた質疑
	多可町の空き家件数の推移や状況はどのようになっているのか。
	担当課からの回答
	<p>担当課：多可町定住推進課</p> <p>多可町における空き家件数については、平成29年度に実施した外部委託調査の結果、空き家の疑いがある物件は約500件と把握している。その後は、この数値を基礎として、空き家バンクの登録・成約状況、水道の開閉栓の記録、令和3年度の航空写真との照合、老朽危険空き家除却支援事業の活用実績など、各種情報をもとに、空き家の疑いがある件数として整理している。令和6年度末時点での空き家の疑いがある件数は、調査時点から年平均18戸増えて641戸となっている。</p>